

委員長同士で語り合おう

～板橋区コミュニティ・スクールを本物にするために、
委員会を再点検～

文部科学省CSマイスター
東京都CSアドバイザー
三鷹市スクール・コミュニティ推進員
四柳 千夏子

本日の内容

板橋区コミュニティ・スクールは充実期に！

- ・それぞれのコミュニティ・スクール委員会の現在地を確認しましょう
- ・運営上の工夫、困りごと、疑問など、委員長同士だからこそ分かち合いましょう
- ・ここまでのコミュニティ・スクール委員会の役割を再点検し、これからに生かしていきましょう

コミュニティ・スクール
が活かされていない？

こんな悩み、ありませんか

コミュニティ・スクールが形骸化する、と言われている3つの要因

- ① 会議の回数が少ない ⇒ 議題が圧縮され、協議の時間が無い
- ② 説明や事務連絡が中心の会議になっている ⇒ 熟議がされていない
- ③ 校長や委員長だけがしゃべっている ⇒ みんなが意見を言えていない

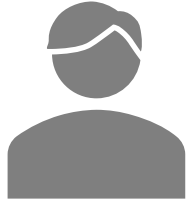
⇒ 「みんなが意見を言う」場になっていない

⇒ 私が意見を言っても言わなくても大差ない

⇒ そこにいればいい、黙って聞いていればいい

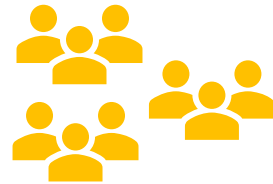
⇒ 「他の誰かがやってくれている」会議

あっという間にこういうことに、、、のケース（実話です）



A校長

うちの学校では、コミュニティ・スクールをこう進めます！
地域の協力を得て●●●なイベントを大々的にやりたい！！
それを推進していきますっ💪

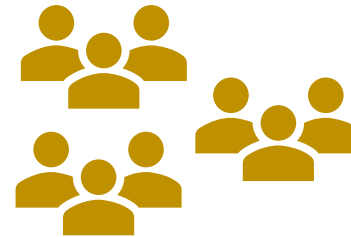


いいね、いいね！

…のはずが…

1年後

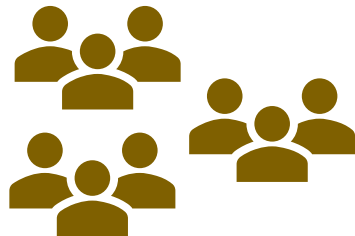
●●●なイベント？そうなんですよ、
もうね、A校長の強い思いなんですよ



A校長がやりたい、って

なんか、よくわかんないけど…

2年後



とにかく、●●●なイベントを成功させる

対話・会話
「話しあう」
ことの重要性

では、会議はどうなっていますか

ポートフォリオを使って「これまで」を確認



大人たちの「会議あるある」を変えていけるか？

いつも発言する人、
決まってるよ
なあ…

おかしいな、と
思ったけど、ま、
いいか

意見を求められたか
ら言ったけど、そ
れって何か回答
してくれるの？

- ▶ 声の大きい人の意見が「みんなの」意見
- ▶ 意見や要望を言っぱなし
- ▶ 対話を十分にせずに「多数決」

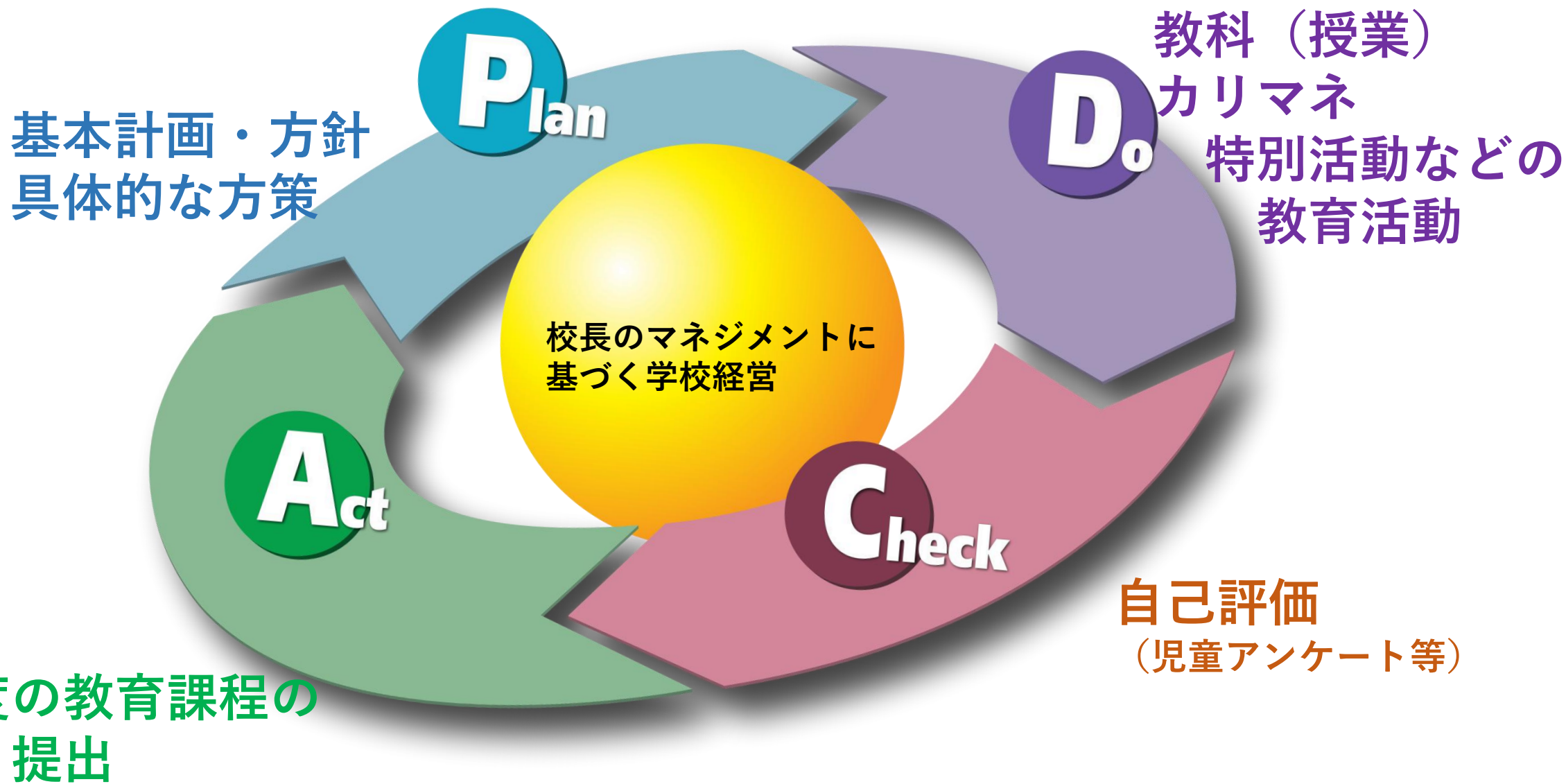
私なんかが発言
しなくても誰か
が言うでしょ

いつも最後は時間が無く
なって尻切れトンボ
この会議、意味あるの？

一方的に決められ
ちゃったけど、本当は
もう少し質問した
かった…

アノ人が言った
ことに反対意見
は言えないよ
なあ…

学校のマネジメントサイクル

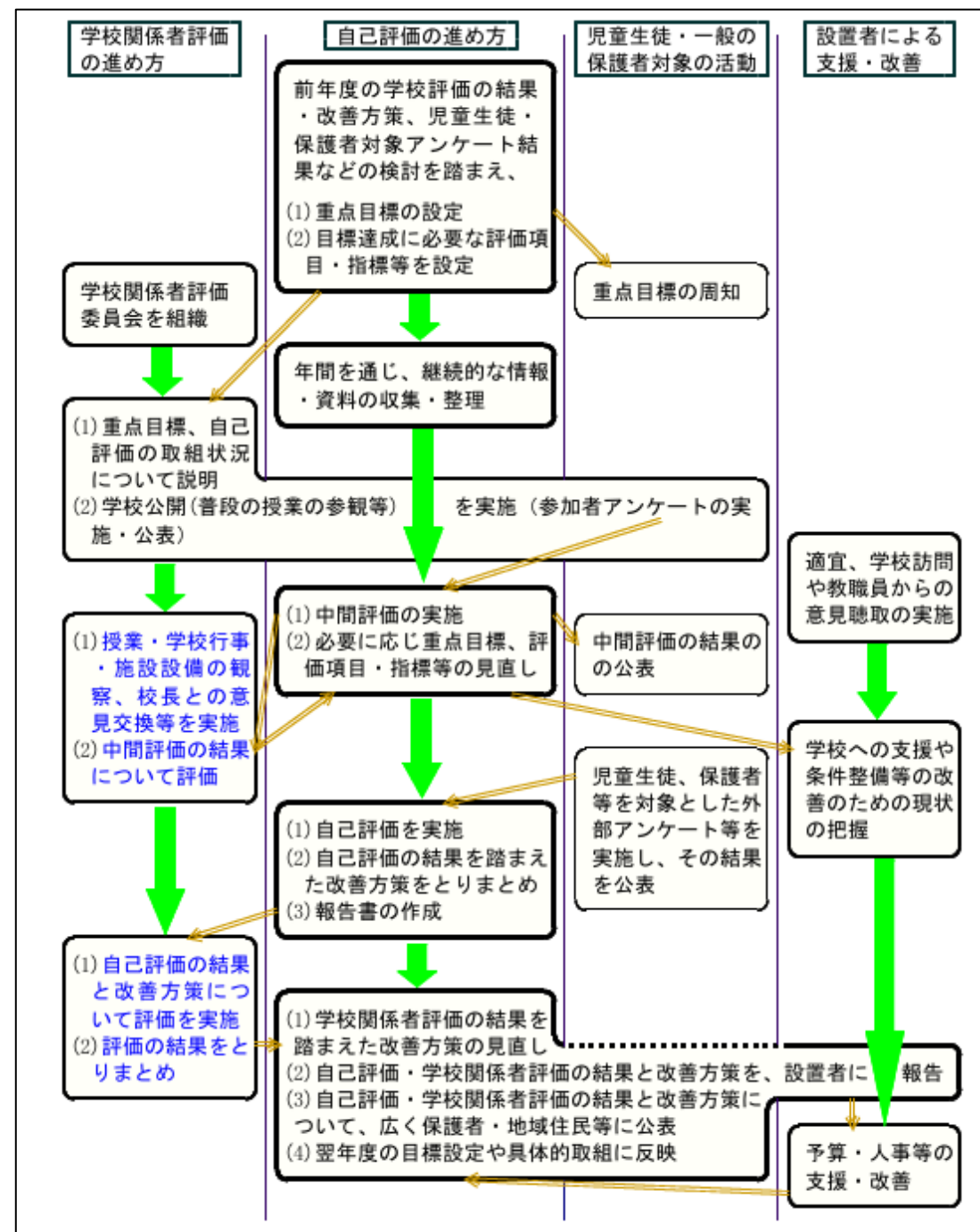


自己評価・学校関係者評価の進め方のイメージ例

〔注〕「設置者による支援・改善」の欄を除き、特に明示がない場合には、学校がそれぞれの活動の主体になる。

青字で記述した活動は、学校関係者評価委員会が活動の主体になる。

文部科学省 学校評価ガイドライン（平成28年）改訂
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2019/01/30/1323515_021.pdf





私たちが校長から「どんな目標をもち、どんな子どもたちを育てたいのか」など学校のビジョンを聴き、協議し、責任をもって「Let's」の承認をします

学校運営協議会だからこそ、多様な意見を集められます。学校の課題や子どもたちの困り感など学校の改善につながる未来志向の協議は、私たちもワクワクします！子どもたちを真ん中に、学校と一緒に子どもたちを育てている感覚があります



承認・合意形成

課題解決に向けて
さらなる協議



学校や子どもたちにかかわるのは楽しい！子どもたちからエネルギーもらえるね。私たちももっと学ばなきゃ！

学校評価
成果の振り返り

先生たちの自己評価、子どもたちへのアンケート、保護者や地域の声などを丁寧に読み解きながら、協議します。時には熟議も。ここを丁寧に、しっかりと！！



板橋区：

第4条 CS委員会は、学校運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関として、東京都板橋区教育委員会（以下「教育委員会」という。）及び対象学校の校長（以下「校長」という。）の権限と責任の下、保護者及び地域住民（以下「保護者等」という。）の学校運営への参画、保護者等による学校運営への支援・協力を促進することにより、学校と保護者等との間の信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むものとする。

（「板橋区立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」より抜粋）

学校運営への参画に取り組むって？

承認した学校の目標や基本方針、目指すビジョンが
どこまで達成されたのか？、成果と課題は何か？

その先どう改善していくのか？

までに責任をもつ、ということ

教育目標

いつまでに
どこまで
どうやって

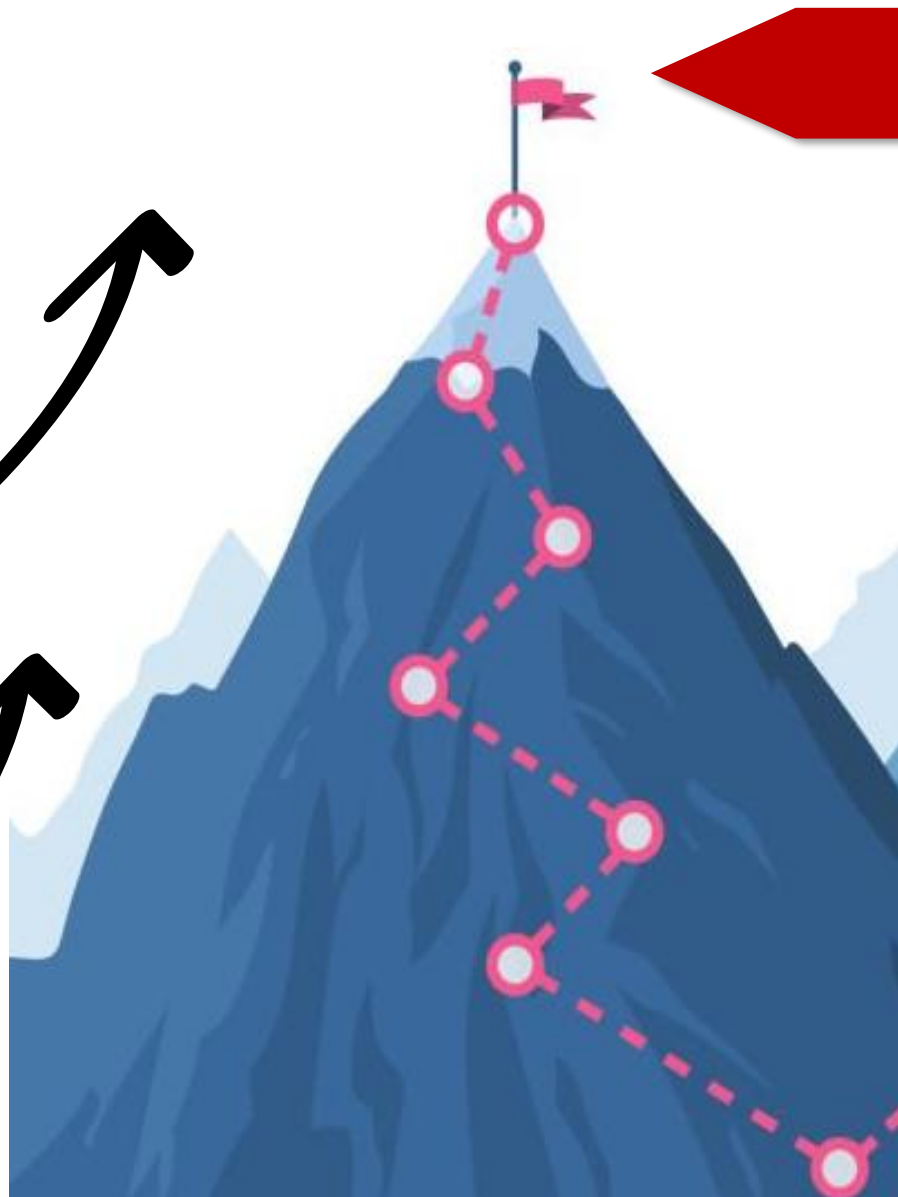
現状把握、成果認識

- ・どこまで到達できたか
- ・どんな成果があったか
- ・できなかったことは何か
- ・どうするとできるのか

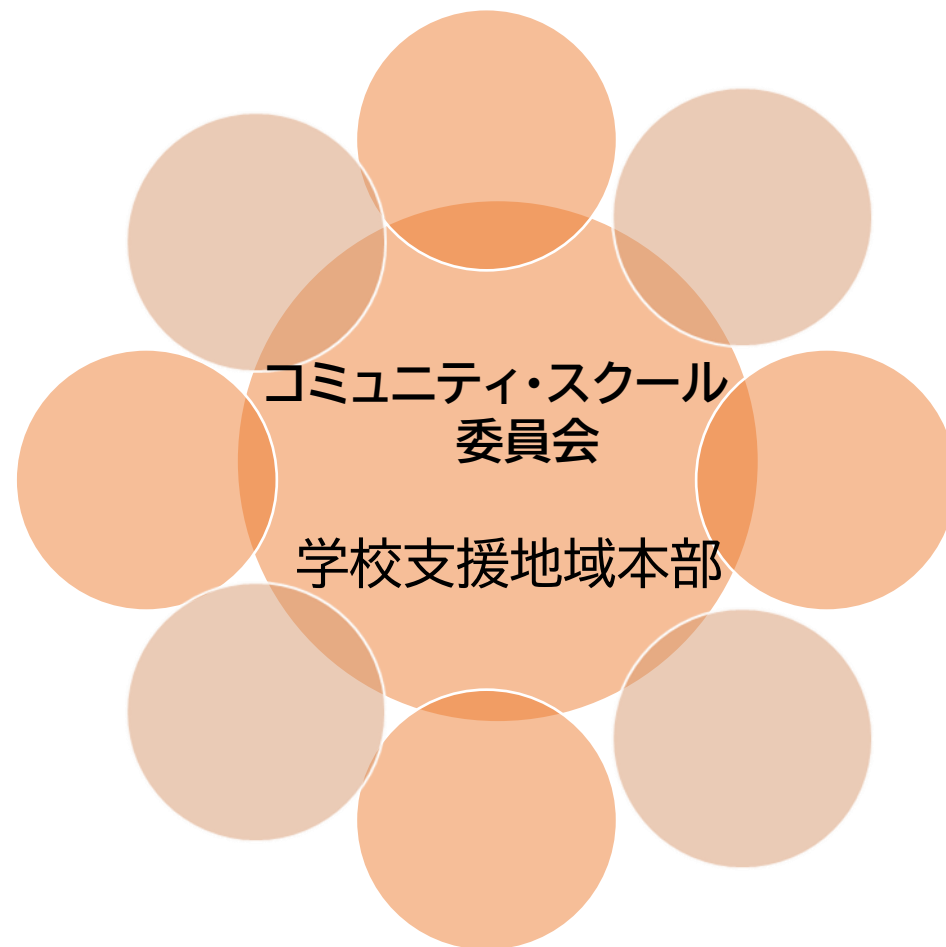
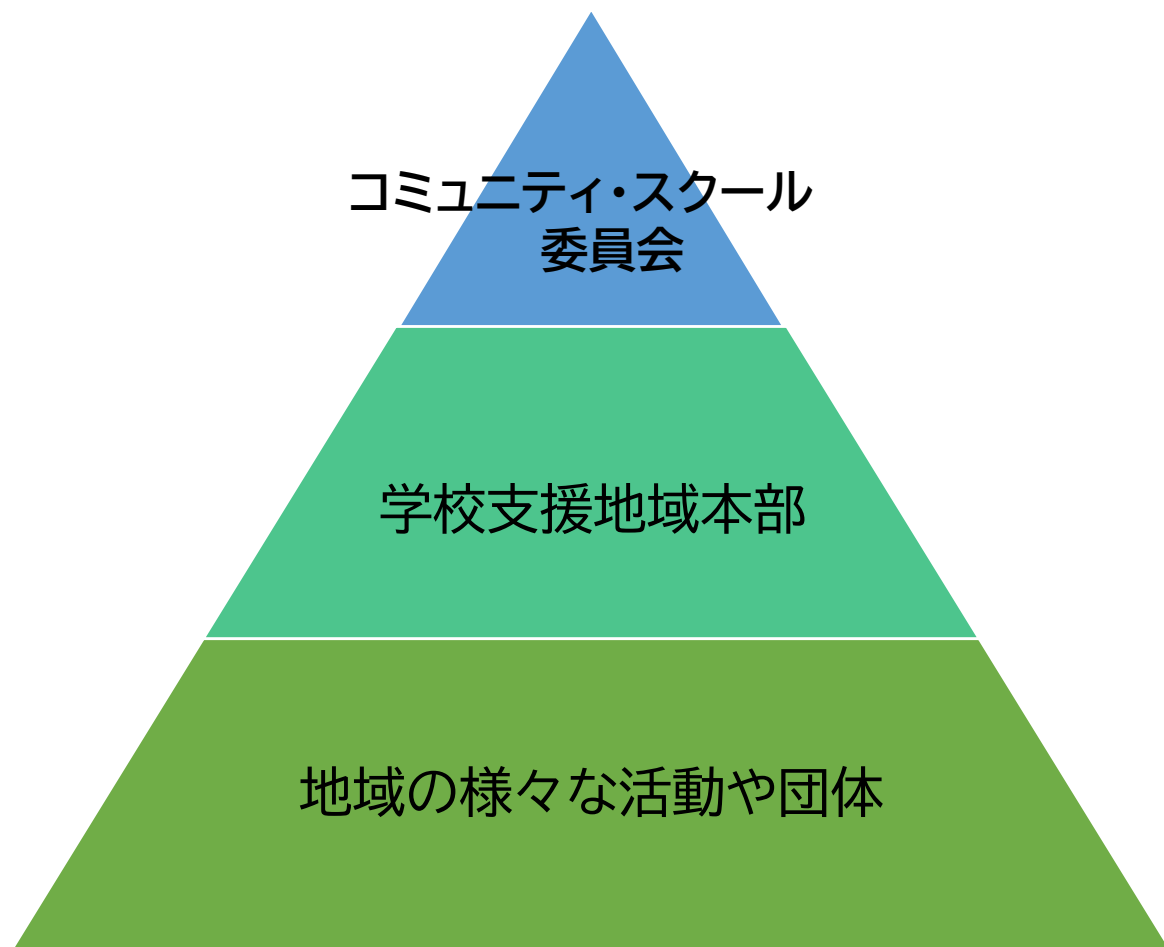
改善策、次なる達成目標
スクラップ&ビルド

先生たちが一丸と
なって取り組める
組織になっている
か？

地域も同じ方向を
向けているか？



地域組織の考え方は、、、





確認のポイント	具体的な事例	できている	判断がつかない、もう少し？	R6年度の振り返り	R7年度の方方向性
熟議の運営方法	熟議の目標（ゴール）を委員が共有する				
	会議前に委員長と校長で熟議内容を検討する				
	学校の課題が委員に共有されている				
	全員が発言しやすい雰囲気があり、全ての委員が発言している				
	出た意見や考えが可視化されている				
	熟議の結果、各個人（学校・保護者・地域）が実行すべきこと・役割分担が明確になっている				
継続して議論ができる体制づくり	学校、家庭、地域全体で育てたい子ども像が共有されている				
	校長、副校長の異動に関わらない運営が行われるよう、司会進行、議事録の作成は委員が行っている				
	教職員との顔合わせの場を設けている				
	iCSだより等の情報発信を行っている				
学校支援地域本部との両輪・協働関係	地域コーディネーターから活動報告・相談等の情報共有がある				
法で規定されている3つの機能	学校経営方針の重点事項について委員と共有している				
	学校運営に関して率直な意見を述べる機会がある				
	教職員の任用について提案や意見を述べる機会がある				
全 体	CS委員会の主旨に則り、学校運営のビジョンを共有している				

コミュニティ・スクールが形骸化する、と言われている3つの要因

▶ポートフォリオの3つの観点から一つをテーマに選ぶ

- ①熟議の運営方法
- ②継続して議論ができる体制づくり
- ③学校支援地域本部との両輪・協働関係

▶できていること／その要因（工夫していること、やってみてうまくいったこと） →汎用できるように、一般化

▶判断がつかない、もう少し？／その要因 →改善方策などをカンガエル

※みんなでワチャワチャしゃべる中で気づくこと、見出すこと

※話し合いの足あとを残すと、みんなでシェアできます